05-2 高分子学会講演会

技術経営（MOT）のすすめ　－市場競争力を高める技術戦略－

＜趣　旨＞　ながらく続く日本経済の閉塞感の中、復活のために企業の研究開発や技術といった強みを再度見直し、強化する動きが活発化しています。また大学や国研も独立行政法人化に伴い知的財産権管理やベンチャー設立といった、これまでとは異なる感覚が求められてきています。技術や研究成果をどのように経営に結びつけるか、これからの企業及び大学研究者に求められる「技術経営」を、実例を交えながら分かり易く解説していただきます。

〈企画担当委員からひとこと〉
高分子学会主催であるからこその'内容'、'講師陣'、'参加費'です。研究開発企画に携わる方、プロジェクトヘッドの方以外に、テーマリーダーの方などの次世代を担う若い研究者、技術者、学生さんに勉強してもらえればと考えて企画しました。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

主　　催　高分子学会　行事委員会
協　　賛　（予定）日本化学会
会　　期　平成 18 年 1 月 17 日（火）10：20～17：20
会　　場　東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館フェライト会議室（3 階）
交　　通　東急目黒線･東急大井町線　大岡山駅　下車徒歩約1分
http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/o-okayama-campus-j.html

プログラム

10：20～11：30　1）総論　－技術経営（MOT）とは－
（フュージョン アンド イノベーション）古田 健二
技術活動をベースにイノベーションを起し、企業価値増大をはかる中にしか日本企業の継続的成長は望めない。この活動を適切にマネジメントすることが、テクノロジーマネジメントであるが、その全体像・考え・方策を解説する。

11：35～12：45　2）技術経営の視点・論点
（A.T. カーニー）山本 直樹
企業経営を技術面から主導する際に求められる 3 つの要諦、①技術戦略、②テクノロジーマーケティング、③技術の商用化、についてハイテク産業の事例を中心に議論し、日本企業の成長に向けた示唆を導出する。

13：40～14：50　3）村田製作所の研究開発戦略　－独自性への拘りとコア技術の深耕－
（村田製作所）高木 清
1944 年セラミックコンデンサ製造を目的に創業した当社は、その後一貫してセラミック電子部品の開発・製造を手掛けてきた。これまでの当社の企業活動を支えてきた企業風土や研究開発戦略、研究開発システムの概要を紹介する。

14：55～16：05　4）三菱化学における技術経営
（三菱化学）今成 真
1990 年代後半から 2000 年代初頭にかけて化学企業は収益の悪化に直面した。三菱化学はこれを克服すべく、経営改革および R&D 改革に取り組んで来た。本稿ではその内容について紹介する。

16：10～17：20　5）理系の経営学　－経営と技術の相乗効果を発揮させる新しい経営の考え方－

（東京大学大学院）宮田 秀明

経済と経営はそもそも論理の積み重ねであり、理系思考は経営に不可欠のものといえる。東大工学部に日本初の理系の経営/システム工学科「システム創成学科」を設置し、理系文系を越えた新しい教育のさらなる基盤強化を進めている。経営に必要な論理についてケーススタディを踏まえながら、分かり易く解説する。

参加要領　1）定員 100 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

2）参加費 会員（協賛会員含む）① 企業 10,500 円 ② 大学・官公庁 5,250 円

③ 学生・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｼﾙﾊﾞｰ 2,100 円

年会費制会員※1）の団体からのご参加は、何名様でも割引料金となります。

a）企業 8,400 円 b）大学・官公庁 4,200 円

※1）詳細はhttp://www.spsj.or.jp/c18/2005nenkaihisei.html　をご覧下さい。

3）申込方法　下記申込書にご記入の上、FAX または郵送にてお申込み下さい。

随時、参加証、請求書を送付いたします。

4）参加費の支払い　請求書到着後１月末日までにお願いします。

銀行・郵便振替の領収書をもちまして本会からの領収書とさせていただきます。

振込先銀行：UFJ 銀行銀座支店　（普通）1126232　名義：社団法人高分子学会

郵便振込：00110-6-111688　名義：社団法人高分子学会

5）その他　演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

申 込 先　（社）高分子学会　05-2 高分子学会講演会係

〒104-0042　東京都中央区入船 3-10-9　新富町東急ビル 6F

TEL 03-5540-3770　FAX 03-5540-3737

（社）高分子学会　05-2 高分子学会講演会係 行　FAX 03-5540-3737

05-2 高分子学会講演会 参加申込書

参加者名（ふりがな）	
勤務先・部署	
TEL	FAX
E-mail 今後、高分子学会主催行事案内の E-mail 送付　□希望する　□希望しない	
勤務先住所　〒	
送金方法（送金額を記入し、該当するもの（□）にチェックしてください。） 送金額　¥＿＿＿＿＿＿（所属：□企業　□大学/官公庁　□学生　□ｺﾞｰﾙﾄﾞ　□ｼﾙﾊﾞｰ　□年割※1)）	